

## オーディオ実験室収載

### ZANDEN Model 120 の展開(36) —ベートーヴェン全集を聴く(36)—

#### 1. 始めに

前報(35)に引き続き、ベートーヴェン全集を集中的に聴いていきます。

#### 2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス／バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langevin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス／バランス変換プラグ)→  
(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。

音源としては、ベートーヴェンのピアノ曲を聴いていきます。これらは、Y 氏から頂戴したものです。

ドイツグラモフォン MG9549

ディアベリの主題による 33 の変奏曲ハ長調  
ゲザ・アンダ (ピアノ)

#### 3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、前報(1)と同じく、TELDEC の逆相、第 4 時定数は Mid で聴いていきます。

ディアベリの主題による 33 の変奏曲は、変奏曲と称するからには、主題が次々と似たような旋律で変化しながら展開していくわけですが、この場合は、変化の自由度が大きく、予想以上に別の曲かと思われるくらい、新鮮で大胆に展開していきます。そして、そのような展開をアンダが描き分けていっています。

#### 4. まとめ

今回も、アナログアキュライザーを **TruPhase** の入力側と出力側にセットしたことにより、上記の曲の変奏曲の展開についてゲザ・アンダの演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上